

第二次 滝川市環境基本計画（骨子案）について

1 計画策定の基本的な考え方

(1) 計画の対象と分野

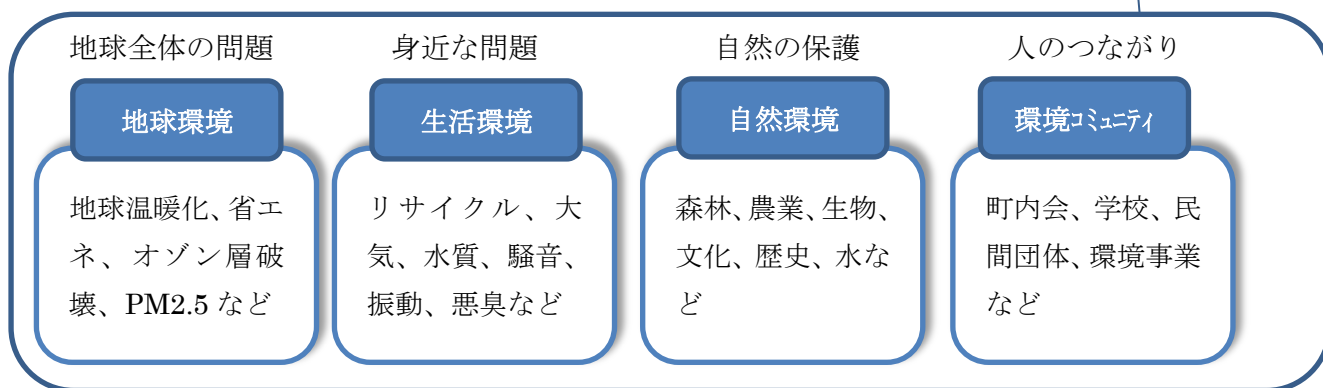
前回の計画を継承し、4つの分野を設定しました。
基本方針の「地域環境」が分かりにくい言葉だったので「環境コミュニティ」としました。
各分野の設定について確認いただき、それに対するご意見をお願いします。

「環境」＝ 意味は広く、様々な範囲や規模で幅広く使われる。



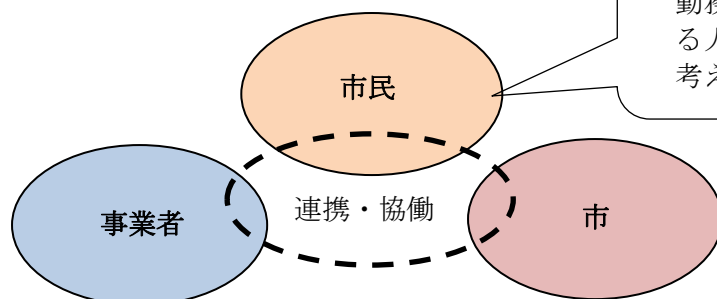
このため、この計画で対象とする環境の分野と要素をあらかじめ整理

①計画の対象としてとらえる環境の分野



②計画の主体～環境を守り育てるために（テーマ）

3つの主体「市民」・「事業者」・「市（行政）」が連携・協働しながら、重要な役割を果たす。



※市外に居住していても、市内で勤務する人や市の施設を利用する人などは、幅広く市民として考えます。

2 目指す環境の姿

(1) 環境施策を総合的に推進するために

どのような環境のまちを目指すかを明らかにして、共有する必要がある。

目標を設定するに当たり、今計画では「目指すべき姿」を明記する必要があると考え、新たに「目指すべき姿」を表現しました。この内容について、ご確認いただき、それに対するご意見をお願いします。

(2) めざす環境の姿

豊かな自然を守り、すぐそばにある森や川とそこに生きる動植物などを育み、触れ合いながら、環境負荷に配慮し、快適で暮らしやすい都市環境を未来に向けて創り守っていくまち

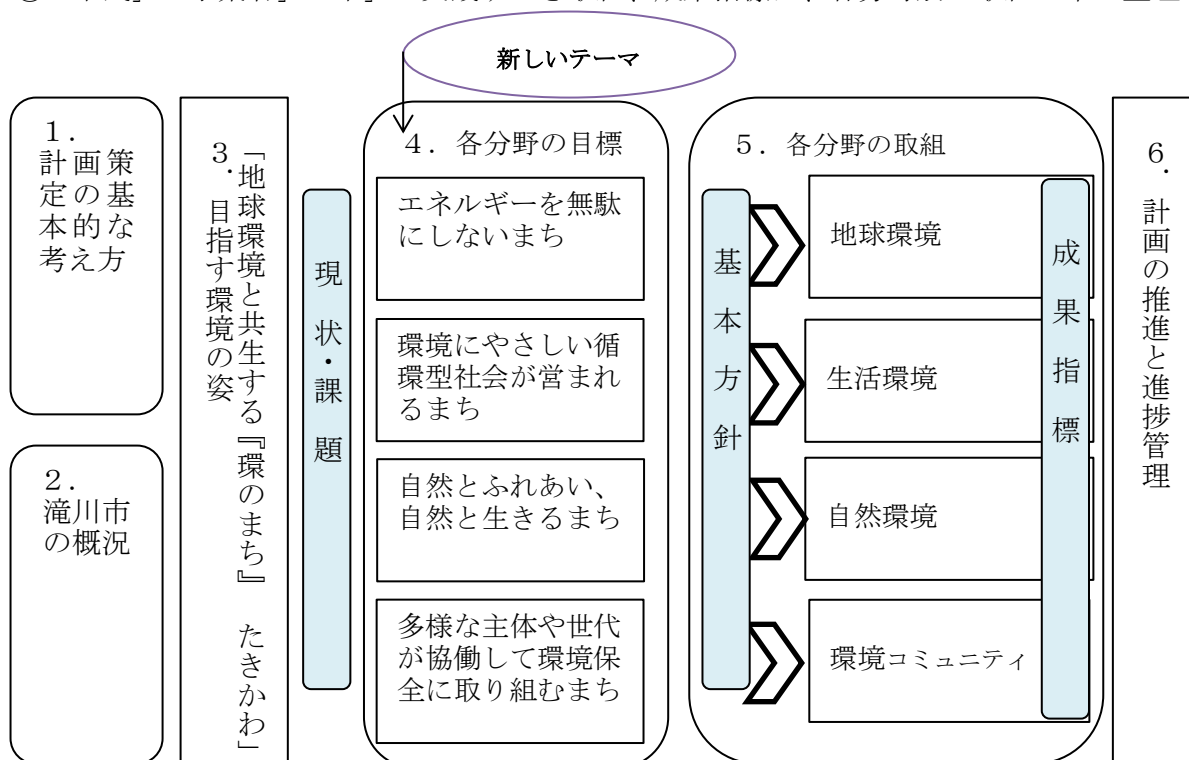
↓
【目標】(キャッチフレーズでもある)

「地球環境と共生する『環のまち』たきかわ」

前計画を踏襲し、「地球環境と共生する『環のまち』たきかわ」と設定しました。このことについて、ご意見をお願いします。

3 計画の構成

- ①長期目標 … (前計画では)「地球環境と共生する『環のまち』 たきかわ」
- ②長期目標を踏まえての「現状」と「課題」
- ③各分野の目標 … 問題点と取組などがより理解しやすいよう、4つに区分
- ④各分野の取組 … 「基本方針」と、その取組における「成果指標」
- ⑤「市民」・「事業者」・「市」の実践すべき取組、成果指標は、各分野別の取組の中で整理



4つの分野に基づいた取組の目標をそれぞれ作成しましたので内容をご確認の上、ご意見をお願いします。
※4つの区分については、**資料 4、5** アンケート調査を基に設定しました。

3. 各分野の目標と取組について

(1) 地球環境（地球全体の問題）

- ① 目 標：エネルギーを無駄にしないまち
- ② 基本方針：地球環境に配慮した行動により、地球温暖化等の環境対策に取り組む
- ③ 取 組：温室効果ガスの排出抑制

地球温暖化対策の推進	1) 計画的な温暖化対策の推進
	2) 省エネ化の推進
	3) 再生可能エネルギーの利用促進
	4) 環境負荷の少ない機器等への転換
その他の地球環境問題への対応	1) フロンガス、PM2.5等の情報収集、提供等

(2) 生活環境（身近な問題）

- ① 目 標：環境にやさしい循環型社会が営まれるまち
- ② 基本方針：3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取組を基本として、環境にできる限り負荷をかけない循環型社会の実現
- ③ 取 組：環境に負荷の少ない循環型社会の構築

ごみの減量とリサイクルの推進	1) ごみの減量化
	2) 3Rの推進

(3) 自然環境（自然の保護）

- ① 目 標：自然と触れ合い、自然と生きるまち
- ② 基本方針：森林・河川を中心とした動植物の生息環境を守りつつ、暮らしの中で気軽に自然に触れ合える環境作り
- ③ 取 組：豊かな自然環境の保全と共生

動植物の生息・生育環境の保全	1) 豊かな森林・河川環境の保全
	2) 地域の動植物との共存
	3) 生物多様性の保全
自然・農環境の保全と環境資源の持続的な活用	1) 地産地消やクリーン農業等の推進
	2) 自然・農との触れ合いの場の提供・確保

(4) 環境コミュニティ（人のつながり）

- ① 目 標：様々な主体や世代が協力して環境保全に取り組むまち
- ② 基本方針：環境を学び、育て、発信し、環境に取り組む人の環づくり
- ③ 取 組：協力体制と環境意識の向上の促進

環境学習・教育の充実	1) 環境学習・教育の基盤づくり
環境関連情報の集約・発信	1) たきかわエコネットの運用
	2) 各種イベントによる発信
市内の事業所・団体とのつながり、人材育成の強化	1) 様々な主体と協力する取り組みの強化
	2) 次世代を担う環境学習リーダーの育成強化